

# 青梅のじ

〈発行〉

日本基督教団 隠退教職ホーム  
にじのいえ信愛荘  
運営委員会 須藤 繁

〒198-0052 東京都青梅市長洲2-687  
電話：0428-22-2283 FAX：0428-22-2317  
Eメール：nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

振替口座番号 00120-3-358467

加入者名：にじのいえ信愛荘

## 「希望のじ」となるために

西東京教区総会議長・阿佐ヶ谷教会牧師 大村 栄



2009年5月に西東京教区総会において議長に選任された頃、おとなりの東京教区議長(当時)長崎哲夫先生から、教区間協力のお申し出を頂きました。その際に、特に3つの具体的な課題があるとうかがいました。第1は旧東京教区時代の負担金未納問題、第2は小平霊園にある両教区の「共同墓地」の管理について、そして第3が「にじのいえ」と「信愛荘」の合併の問題でした。

その後、この第3の課題を学ぶために「合併委員会」(長崎委員長)にも一度陪席させて頂き、委員や施設の皆さんのこれまでの尊い努力を知り、改めて感謝と敬意を表すると共に、これから私の私共の責任を自覚しました。合併に伴う新館建築工事では、総工費2億円内の5千万円の募金に対して、西東京教区も応

分の分担をする決意をもって募金活動を行い、幸い順調に進みましたことを、今感謝をもって思いかえます。

私は地方教区におりました間、しばしば周辺の牧師方が、隠退後の行き先について悩みや不安を持っておられるのを感じてきました。東海教区では浜松にある聖隷事業団の施設内にそのための場所を確保するプランもあったのですが、うまく進みませんでした。「信愛荘」と「にじのいえ」の存在は、そうした先生方にとっての希望になることが出来たのに、その知名度がいまひとつ低かったように思います。合併した「にじのいえ信愛荘」はその点を克服し、今まで以上に全国の牧師先生方の希望となり、それゆえに諸教会の伝道の底支えとなれるよう期待しています。

でした。父が病氣をして隠退することになりましたが、家がありませんか、急遽5人の子供たちで協力して、郊外に両親のために小さな住まいを取得しました。

そんな牧師家庭の苦労を見てきた私でありながら、不思議なことに献身に導かれました。謝儀互助や保障をあてにした訳ではありません。老後は「信愛荘」があるからと期待したのでもありません。当時は「いずこへなりと送りたまえ」讃美歌392の心境のみでした。

しかし現場に出て知った現実には、予想以上に厳しいものでした。特に地方では、牧師の社会保険料を負担できない教会があることを知りました。生活のためにご夫妻で働いておられる牧師もいました。都市部の教会にも見られることですが、隠退後のことを考える余裕などないほど、伝道に捧げきっている方々があるのです。

その方々にとって、「にじのいえ信愛荘」が希望となり、それゆえに教会の伝道力になることを私は確信します。そしてこの施設の地元教区として、これを大切に支え、育てていきたいと思っています。

# 復活の主ハレルヤ

## にじのいえ信愛荘 イースター礼拝・祝会

2012年4月9日(月)にじのいえ信愛荘では、イースターの翌日10時30分からイースター礼拝が捧げられ、続いてなかなか祝会がもたれました。出席者58名。

### 【礼拝】チャペル

司式 有馬歳弘師

奏楽 小林 恵姉

頌栄 540

主の祈り

交読文 交読詩編16

聖書 ホセア 6章1〜3

ルカ 24章28〜35

祈禱

讚美歌 121

説教 「心が燃える」岸 俊彦師

祈禱

讚美歌 151

使徒信条

聖餐式

讚美歌 205

献金

頌栄 541

祝祷

### 説教 「心が燃える」

岸 俊彦牧師

最初のイースターの午後、二人の弟子がエルサレムを逃れてエマオへ向かいました。この一週間の恐ろしい出来事を考えるに暗い気持ちでした。まして「主が生きておられる」とはとても信じられませんでした。

いつのまにか一人の旅人が加わりました。彼は二人とは話しながら、「物わかりが悪く、心が鈍く、信じない者たち」と言っていて、聖書を説き明かしました。

夕方となり、二人は一緒に泊まるようにと無理に引きとめました。彼は弟子たちが祝った最後の晩餐と同じようにパンを割きました。その時二人の眼が開かれ、心が開かれキリストだと分かりました。

聖書に基づく説教と聖餐によつてこそ、復活の主が生きて働いて下さることを信じる事ができます。主が与えてくださる永遠の命によつて私たちの心は燃えるのです。

### 【祝会】ホール

12時10分〜13時50分

祝会は、横山利江姉の司会により、豊かな交わりの時になりました。

一. にじのいえ信愛荘クワイア

指揮 土屋恵子師

二. 食前感謝 鈴木功男委員

三. 新人荘者紹介 吉川幸子師

四. 招待者紹介

五. 独唱 森野信生先生

ピアノ 森野啓子先生

六. 全員讚美496

「うるわしのしらゆり」

七. ゲストスピーチ

竹井祐吉師

八. 挨拶・閉会祈禱

角谷多美子運営委員長



「にじのいえ信愛荘クワイア」の讚美は、青梅の地に咲く野の花のように、この荘のすべてが麗しく養われている恵みを伝える響きでした。

### 〔バリトン独唱・トーク〕

独唱はヘンデルのラルゴで始まりました。続いて軽妙な自己紹介。牧師であった父の名前は正しい男と書く「正男」、わたしは信じる生まれると書いて「信生」。逆に読めば生半可な信仰などなど、ジョークとユーモアを挟んで、名曲の数々がホールに響きわたりました。

### 〈ゲスト・スピーチ〉

元荘長 竹井祐吉牧師

2階の掲示板に、当時、河村孝先生の毎月出していた壁新聞があった。河村先生の面影を見て思い出した。

ある日曜日、教会の青年の結婚式。私が細かいところを見ながらの司式。孫娘のフラワーガールはもうじき来ると思っていたが、いよいよマーチが始まる。新郎新婦がきちっと並んでいて、ゴートの合図を出した。歩きはじめた。孫娘は2階から降りてきて、前に出そうと思ったが、間に合わなくなつて、

後ろから花を撒いた。こともあろうに二人の人生の最初の時に、花を後ろに撒いてしまった。

翌月曜日に、この不始末の苦しい想いを話すと、河村先生はポツンと「よかったですね。歩いた後に花を咲かせている」と。

こういう解釈。素晴らしい有難い解釈。人が失敗だとしょげている時に。「全てのが相働いて益となる」。失敗じゃなくて意味のあることだったということ、心からお礼を申し上げたんです。

私なりの小さな経験でした。

和やかな祝会は、角谷委員長の祈祷を以って閉会しました。

鈴木 功男・報



## 恩師の励まし

嶺 澄子



9歳の夏、私の住んでいた新潟県長岡市は、

125機のB29の爆撃を受けたのです。私は空から飛び散る焼夷弾の火を全身ふるえながら避けつつ、信濃川の長生橋から大島の土手の方へ家族で逃げて行きました。その後を経験した環境や周囲の大きな変化に触れる度に本当の真実とは、永遠とは、人生とは何？と、何となく考えるようになりました。高校を卒業し新潟大学医学部附属看護学校に入り、友人に誘われて大学の聖書研究会に入りました。卒業後東京大学医学部附属病院の第一内科に看護婦として就職し、紹介された近くの本郷中央教会に出席するようになり、教会で説教を聞くのが嬉しくて仕方がありませんでした。求道者会指導は副牧師浅見定雄先生でした。クリスマスに受洗をすすめられておりましたが、東神大寮の集団赤痢にかかれて来られなくなり、指導牧師が主任の武藤健先生に変わったのでし

た。「急がないでゆっくりいいんだよ」と言われ、翌年春のイースターに受洗しました。洗礼を授けてくださった先生から頂いた聖書の扉に、『わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり見えないものは永遠につづくのである』「使徒パウロ・コリント第2・4・18武藤健」と書かれており、このみことばが今も私の心に愛と希望と信仰と共に呼びかけてくれます。

## 花と教会

柏井 雅子



にじのいえ信愛荘のイースターは、水仙、チューリップ、ヒアシンスの花芽が咲きはじめ、菜の花や紫花菜の群生を背景に春の季節の訪れを、喜びにみちて迎えることができました。

青梅のシンボルツリー梅の木も白いやさしい花を咲かせ、イースターをすぎた今は、小さな青い実をたくさんつけています。このにじのいえ信愛荘から

見える山々は本当に美しいです。季節によって山の色合いのグラデーションが微妙に変わってうっとり眺める毎日、何とせいたく暮らしましょう。荘を一步出て裏山を散歩しながら野の花を手にとり、風の音や匂い、小鳥のさえずりを聞くと心が洗われるようです。秋には、美しく紅葉した山道を歩いて、クリスマスを迎えるために、リースの材料をさがします。木の実や、つるを見つけて大はしゃぎしている私、お笑いください。

思い起こせば、これまで夫とともに仕えてきた教会もそれぞれに自然の豊かな土地で、教会の庭も広がったので、土いじりの好きな私のために神さまが用意して下さったのでしよう。どこの教会でも花をいろいろ育て楽しんですごしました。教会員のみなさんとはお花のことですぐ仲良くなり、親しくしていただきました。主日礼拝の講壇のお花を自前でできるよう一生懸命育てました。花の知識や育て方も教会員の未信者の家族の方に教わりました。ご用のために用いられたことを感謝しています。

## 追悼

### 宮本信一牧師追悼

隠退教師 齊藤 昭夫

「十字架の言葉は、滅んでいく者にとつては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です」(コリントの信徒への手紙一・1章18節)。

宮本信一牧師は48年に亘り九州教区の諸教会に仕え、伝道牧会に生涯を捧げてくださいました。

九州教区には宣教部(現在は伝道センター委員会)があり、教区総会で投票によって選ばれていました。それに宮本先生と私その他の方々が選ばれました。1年に数回泊まりがけで集まって、広い意味での教会の伝道について話し合いをしました。

九州教区は幼児保育と高齢者福祉の調査研究を宣教部に委ね報告を求めました。その報告を基に社会福祉法人を設立することとを、1974年5月の九州教区総会において決議しました。設立に至るまでには紆余曲折がありました。「いずみの園」と3つの保育園の働きによって、信仰の大きな「証し」がなされております。

このような困難な課題の中で、宮本先生には御苦労をいただきました。私は宣教部委員長として、宮本先生のお働きに深い感謝をおぼえております。

宮本先生は大柄な人で、ゆったりとした笑顔で接してくださいました。ともすれば、厳しい時代であり、問題山積のため、神経質になり易い牧師たちの中で、宮本先生に接することは貴重な慰めでした。

唐津教会の牧師の時に、奥様を天に送られました。悲しみの中にお訪ねしたことを昨日のように憶えております。

その後、恵先生を夫人に迎えられ、二人で伝道・牧会に励むことができ、本当にお幸せでした。

信仰の勇者、牧師らしい牧師でした。愛誦の聖句の錦を着て、主のみ許に凱旋した宮本先生に、深い敬意を覚えると共にご遺族の上に主の慰めを祈ります。

(熊本市・錦ヶ丘教会元牧師、現在大分県中津市在住)



宮本信一牧師と恵夫人 2011年11月16日 召天  
宮本信一牧師 故人

## もう、朝になったの？

宮本 恵

この調子なら何とか新年を迎えられるかもしれないとの願いをよそに、主人が召されましてからはや5ヶ月、桜前線も到達し近郊での満開のニュースが頻りです。昨年はこの列島を未曾有の災害が襲いましたし、今後

も平穩に過ごせるとは誰にも思えない状況にありますのに、花が美しいのが不思議でさえあります。

桜と言えば小林一茶の句に「はなの蔭 赤の他人は なかりけり」というのがありますが、花の美しさに包まれますと、見ず知ら

ずの人も打ち解けていたりします。丁度そのように、故人にとりましては赤の他人と

言うような人はなかったのではないかと思えます。人に対するのにも気さくでしたし、相手の方も何か構えるということなく接してくださいました。

ルカによる福音書の中に「……許されることの少ない者は、愛することも少ない」(7章47節)との

みことばがありますが、これは神が或る人を多く赦し、又或る人は少ししか赦されないと言うことではなく《自分がどんなに多く赦されているか身に染みてわかる人》があり、他方それ程までに思わない人もいると言うことだ、との解説に接したことがあります。故人がいつも気さくでいられたのは、自身どんなに多く赦されている者であるかを知り、すべてを主に委ねることを心懸けていたからではないかと思えます。

このような姿勢を与えられて九州教区内の教会で、48年に亘って働かせていただいたことは本当に感謝です。

召される3日前の朝、カーテンを開けていましたら、もう、朝になったの？と申しました。よく眠れた？との問いかけにはつきりした返事はありませんでしたが、今思い返してみますとこれが自発的な最後のこととなりました。

「口忍耐あるのみ」と言うような地方教会での働きを続けて、85年の生涯を全うさせていたのだのですから、今はもうゆっくり休んでくださいと言っておきたい思いです。

人脈を活かした被災者支援

安西 貞子



私の前任の  
小高伝道所が  
南相馬市の原  
発より20キロ

内にありますので、震災直後より教会員と付属幼稚園の関係者の安否を問い続けました。幸いに教会員と現園児は無事でしたが、岸壁の近くに住んでいた卒業生の家族が心配でした。その後、新聞に保護者会長だった方の顔写真が出ましたので、避難所宛に手紙を出したところ、メールで返事が来ました。その方は消防団員でしたから、捜索の様子や、教会周辺の状況を写真に写して送ってくださいました。

その数か月後、避難所が解散になる直前に、私は福島市に行き、宿泊したホテルに、消防団員と隣の家族の3世代2家族10名が集まり（荘の方々の献金等で）、盛大な晩餐会をしました。私は隠退して6年になりましたので「先生は自分たちのことなど忘れていると思った」と言われ、私の訪問を大変喜びました。各々があの日のことを話し

始め、夜遅くまで聞きました。でも、おばあさんが津波で流されたことは誰も話しませんでした。皆心痛の思いだったからでしょう。

話によると、避難した山の学校にいられなくなり、夜中に行く先も知らずに山中を必死で逃げたというのですが、その時に水素爆発があり、皆が逃げた方向に放射能が流れていたことを知らずにいたことが気になります。さらに、避難所にいた人々は各町から迎えに来たバスに乗って行き、ばらばらになってしまったとのことでした。

その後、地元の仮設住宅に戻った人から手紙が届きました。「とても寒い」とのことでしたので「今何が必要か」を聞き、暖かい下着や上着や毛布等を送ることにしました。その時に、これまでに私が奉仕した教会や関係の方々に事情を伝え、送る先を直接私の知人宅とし、その方から友人宅へ手渡されることを皆納得してくださり、また「仮設には年寄りが多い」と伝えるとき、それに相応しい物を買って揃えて送ってくださいました方もあり、大変喜ばれました。それは8教会に及びました。これは現在の私が自由な立場にあることと、人脈があったことが幸いでした。

入荘のめぐみ

伊藤 卓江



昨年5月初め  
思いがけず脳梗  
塞を起こし、2  
週間入院しまし

た。幸い回復したのですが、寒い地方で一人暮しはもう無理かもしれない、意志と身体は一致しないのかもしれないと思いましたが。ありがたいことに荘に入られて頂きました。ここでは同信の方々と毎朝礼拝し、共に集まって食事を頂きます。顔をあわせ挨拶し毎日共に生きる。これは当たり前かもしれないけれど、とても有難いことと知りました。どなたも親切で自立しておられるので、もたれかかることがありません。その自分自のことは自分で考え、決め、行動することが当然になってきます。困ったことや身体の不調があれば相談することもできます。一番感動したのは、弱くなっても出来なくなっても排除されないということです。「ここは天国ではないか」と思った次第です。

夫が隠退して10年、独居して5年、私は終りまで一人で暮らすと思っていましたのに意外な展開です。神様の支配は私共の計画や願いを超えて行われます。御前にひれ伏すばかりありません。

新しく迎えられて

吉川 幸子



4月から荘へ  
迎えられ、整え  
られた環境の中  
で慰めを得てい

ます。主の派遣であればこそ40数年であり、時には「カイザルの前に立つ」思いもしましたが、主の真実と共に、この小さな者を送り出して下さった教会の祈りを忘れることが出来ません。パウロと比較するのはおこがましいのですが、彼を伝道へと送り出したのがアンテオケ教会の祈りであったように（使徒言行録13章3節）。

神様は、今日までよくもお用い下さったことよと、その「隣れみと忍耐」への驚きと感謝で一杯です。

入荘早や1ヶ月になり、豊かな食事に基づく規則正しい生活に健康が支えられ、神の家族として礼拝が始まる一日を大切にしたいと思えます。

荘長はじめ委員、スタッフ、先輩の諸先生方に温かくもてなされ、学ぶことの多い日々です。みこころのままに、この地で生きることができそうですように。



## 近況報告

庄長（施設長兼務）

有馬 歳弘

全国的に大変厳しい冬の季節を過ぎました。在荘の皆様は、暖かい日々を迎えています。お祈りとお支えをいただいております。感謝申し上げます。

桜のお花見を近くの公園で経験することができました。また、つつじの花の観賞、菖蒲の花の観賞と楽しい予定が待っています。スタッフは楽しんでくださることに喜びをもって計画をしています。

ビッグニュースは、荘の広い庭を本格的な庭園工事をしていくことです。ほぼ完成に近づいています。食堂の窓から見えるところは、石柱で囲まれ、中央に「ハナミズキ」が植えられ、ハーブガーデンをイメージしているとのこと。他のところは、在荘者の趣味を生かした花壇となります。特に、希望されるかたは、一区域ごとに、ご自分の花園を作るようになってい

ます。具体的に植えられるのは、この後直ぐです。楽しみにしています。来荘の機会を作って是非ご覧ください。

4月から厨房が変わりました。

これまで調理場に必要な人数を満たすことに苦慮してきましたが、長期的な将来をも見据え検討の上、このたびKK日本給食サービスと契約しました。長い間、高橋恵子さんが厨房の主任として厨房に携わった方々と共に、責任をもって心のこもった料理を提供していただいたことを感謝します。

スタッフ等の移動

〈事務長〉濱田繁さん就任。  
合併後重要な基礎を作ってくださった朝岡健一さんがこのたび退任されました。但し、後任の濱田さんへ業務引き継ぎのため、7月まではお手伝いくださいます。施設長 横山利江さんは、施設長を退かれましたが、庄長補佐として引き続き尽力いただくことになりました。高橋恵子さんは、4月より新しく〈生活主任〉として、在荘の方々の生活全

般のお世話をしていたいただきます。さらに、荘のために数年お働きくださいました矢田部昌枝さんは、3月でお辞めになりました。尚、新施設長就任までは、私が施設長を兼務することになりました。

在荘者のご様子

・平松政恵姉 茨城県東海村にある特養「オークス東海」に入所されました。

・鷺見昌太郎師・セツ子ご夫妻は青梅市内にある「青梅園」に入所されました。

新入荘者

・伊藤卓江姉、昨年10月22日に入荘され、散歩を楽しんで、すっかり荘の生活に馴染んでおられます。

・吉川幸子先生（武蔵野横須賀伝道所）は4月6日入荘されました。荷物の整理にいそがしくしておられますが楽しそうに過ごしておられます。

短期入院や通院の方々もおられますが、優しい介護を受けて過ごしています。どうぞお祈り下さい。



## 運営委員会報告

委員長 角谷多美子

平素より「にじのいえ信愛荘」をお覚えいただき、お支えいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。お陰さまで、昨年度も予算が満たされ、無事に運営することができました。

「にじのいえ信愛荘」として活動を始めてから、1期2年が過ぎ、4月から2期目に入りました。運営委員は、仕事の都合で辞任の1名を除いて全員が留任し、前期と同じ役割を担います。また、今まで毎月開催しておりました運営委員会は2か月に1回開催することになりました。1期目の経験を生かして、より良い運営ができるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

また、事務長が交代し、施設長が辞任したため、後任が決まるまで有馬荘長に施設長を兼務していただくことになりました。「にじのいえ信愛荘」には現在23名の方がお住まいになってい

ます。2月にはインフルエンザに罹られた方が5名出ましたが、皆様軽く済まれ、ほっといたしました。

2つの建物に名前がつけました。A棟は(古い建物)めぐみ、B棟は(新しい建物)のぞみ。

昨秋から外壁の補修をしてきた「めぐみ」の工事も終わり、「のぞみ」と同じように明るく仕上がりました。また、食堂の前に庭園ができ、敷地内を散歩なさり易いように、建物周りの整備も進んでいます。

懸案でした厨房の業者委託も順調に進み、4月1日から業者によるサービスが始まりました。イースターには本社からの応援を得て、60人ほどのお弁当も用意され、まずまずの評判でした。これからは入荘者、職員、給食業者の代表による委員会を作り、さらに話し合いを重ね、より良いものにしていくことになっていきます。

「にじのいえ信愛荘」は全国の教会、教会婦人会、教会員の皆様、キリスト教関係の学校等の尊いご献金によって支えられています。今後ともご協力とお祈りをよろしくお願ひ申し上げます。

## 事務長就任のあいさつ

青梅教会員 濱田 繁



「にじのいえ信愛荘」の近く  
の山々も薄緑の  
新緑で彩られ、  
美しい景色を見せています。

朝岡健一事務長の後任として働くことになりました濱田です。朝、出勤の時は、荘に行くのが楽しみです。先生、牧師夫人と挨拶したり、話が出るのも嬉しいです。又職員の方々と一緒に仕事ができるのも良いものです。私に出来ることは何でも一生懸命やりたいと思っています。この「にじのいえ信愛荘」は全国の教会、兄弟姉妹、婦人会等に支えられています。感謝です。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

## 予 告

募金委員会 西村 佳子

今年度チャリティコンサートを次のとおり開催いたします。チケット販売は9月半ばからです。よろしくお願ひいたします。

## チャリティ・コンサート

日時：11月24日(土)

午後2～4時

会場：青山学院大学

ガウチャー記念礼拝堂

演奏：青山学院大学ハンドベル・クワイヤ

指揮

鷲 昌子氏

バイオリン 工藤 美穂氏

ピアノ 黒川木綿子氏

国立劇場 歌舞伎座公演ご案内

毎年12月初旬上演の歌舞伎を団体割引で鑑賞することができます。お問合せは募金委員の松田町子まで。

TEL 03 (3718) 1870

## あとがき

「青梅のにじ」第5号をお届けします。ご協力を心から感謝いたします。篠宮秀雄委員が辞任のため、欠員のまま出発ですが、私たち編集部は、ご入荘の方々はじめ、ご支援くださったっている皆さまに親しくお読みいただく広報誌を目指しています。

(成松三千子)



莊長補佐 横山 利江

●2011年11月

4日(金)平松政恵姉高木病院へ入院  
7日(月)B棟エアコン共用部清掃  
床暖房点検

8日(火)国分寺教会11名来荘

9日(水)めぐみ幼稚園職員礼拝  
(土屋恵子師、長谷川淳子師)

10日(木)洗足教会8名来荘

11日(金)宿直奉仕金井弓子姉

16日(水)宮本信一師召天

17日(木)井上医院健康診断(インフルエンザワクチン接種)

18日(金)宮本信一師納棺式

19日(土)宮本信一師葬儀(にじのいえ信愛荘ホール)

20日(日)靈南坂教会、岩槻教会来荘  
(感謝祭のカード、野菜の贈り物)

25日(金)生田教会6名来荘 宿直  
奉仕小中乃美子委員

28日(月)誕生会、相談会

●2011年12月

2日(金)宿直奉仕石井幸子姉

3日(土)石坂幸雄師青梅総合病院  
へ入院 定例お茶会

9日(金)宿直奉仕阪口和美姉

12日(月)A棟エレベーター点検

13日(火)東京聖書学校14名来荘

16日(金)相談会、宿直奉仕辻哲子師

22日(木)井上医院健康診断

23日(金)啓明学園ハンドベル・クラ  
イア演奏 宿直奉仕北島和子姉

24日(土)青梅教会キャロリングで  
来荘

26日(月)クリスマス礼拝、祝会(57名)

29日~31日 お正月の準備(高橋  
茂、恵子管理夫人夫妻)清掃 床暖  
房点検

29日(金)啓明学園ハンドベル・クラ  
イア演奏 宿直奉仕北島和子姉

24日(土)青梅教会キャロリングで  
来荘

26日(月)クリスマス礼拝、祝会(57名)

29日~31日 お正月の準備(高橋  
茂、恵子管理夫人夫妻)清掃 床暖  
房点検

●2012年1月

1日(日)元旦礼拝

6日(金)平松政恵姉青梅三慶病院  
へ転院 宿直奉仕砂田巳智子委員

12日(木)ガスエアコン修理

14日(土)玄関↓食堂インターホン  
工事終了

16日(月)スタッフ会議 定例お茶会

17日(火)西南支区音楽部奉仕8名

19日(木)梅寿園中庭測量 井上医  
院健康診断 宿直奉仕浅見多恵  
子姉

23日(月)誕生会、相談会

24日(火)柏井宣夫師眼科手術

25日(水)婦人会連合中央委員会よ  
り19名交わりと見学

27日(金)宿直奉仕尾作聖子姉

●2012年2月

3日(金)原田多恵子師来荘一泊

平松政恵姉「オークス東海(茨城  
県)へ入所 宿直奉仕竹田佳地  
子姉

6日(月)定例お茶会

7日(火)柏井宣夫師眼科手術

10日(金)宿直奉仕会田恰子姉

13日(月)吉川幸子師居室下見で来荘

17日(金)~22日(水)インフルエン  
ザA型罹患5名 宿直奉仕辻哲  
子師

21日(火)東神大同窓会11名来荘

23日(木)井上医院健康診断 24日  
(金)宿直奉仕池田節子姉

27日(月)相談会

●2012年3月

1日(木)加藤実師青梅総合病院入院

2日(金)宿直奉仕成松三千子委員

5日(月)定例お茶会 「日本給食  
サービス」業務発足に備える話  
し合い

9日(金)宿直奉仕石井幸子姉

12日(月)スタッフ会議

13日(火)加藤実師青梅総合病院退院

14日(水)東久留米教会13名来荘

驚見昌太郎師セツ子夫人「青梅  
園(青梅市)へ入所

16日(金)宿直奉仕朝岡瑞子委員

22日(木)井上医院健康診断

23日(金)宿直奉仕金井弓子姉

25日(日)青梅教会お汁粉の会

26日(月)誕生会、「退職者送別感謝  
会」の後レストランで昼食

●2012年4月

1日(日)宿直奉仕岩戸五郎兄

2日(月)「日本給食サービス」昼食  
時に業務開始の挨拶

4日(水)スタッフ会議

6日(金)吉川幸子師入荘 宿直奉  
仕飯沢弘子委員

7日(土)青梅教会よりイースター  
エッグのプレゼント

9日(月)イースター礼拝、祝会58名

13日(金)花壇植え込みに関する話  
し合い 午後「釜の淵公園」へお  
花見 宿直奉仕松田町子姉

14日(土)東芝エレベーター点検

15日(日)教区春季墓前礼拝(小平  
霊園 キリスト者の墓)故宮本信  
一師納骨 宿直奉仕岩戸五郎兄

16日(月)西東京教区荘年委員会、  
礼拝宣教研究委員会より4名来荘

19日(木)火災報知器点検

20日(金)宿直奉仕辻哲子師

23日(月)誕生会、相談会

24日(火)吉田トシ師青梅総合病院  
へ入院 宿直奉仕飯沢弘子委員

27日(金)宿直奉仕阪口和美姉

29日(日)宿直奉仕岩戸五郎兄